

基材との付着性

※施工前には必ずテストパネル等にて確認試験を行ってください。

基 材	適 否	備 考	
ステンレス	△	スプレー塗装のみ。鏡面仕上げ面は不可。	
アルミニウム	△	スプレー塗装のみ。アルマイト処理面は要確認。	
亜鉛めっき	○		
銅	○	多少黒っぽく仕上がる。	
樹 脂	FRP	○	
	ABS	○	
	ポリカーボネート	△	透光板の場合はスプレー塗装。透明性低下。
	アクリル	△	透光板の場合はスプレー塗装。透明性低下。
塗 材	フタル酸樹脂塗料	△	基材の耐候性に難あり。推奨しない。
	塩化ゴム塗料	△	基材の耐候性に難あり。推奨しない。
	ポリウレタン塗料	○	メーカー、種類によって上限塗装間隔に差あり。
	フッ素樹脂塗料	○	メーカー、種類によって上限塗装間隔に差あり。
	シリコンアクリル樹脂塗料	○	
	シリコンアルキド樹脂塗料	○	
	塩化ビニル樹脂塗料	△	スプレー塗装のみ。刷毛、ローラー不可。
	アクリルエマルジョン樹脂塗料	○	
	アクリル樹脂塗料	△	低温時、基材の乾燥性に注意。原則として推奨しない。
	各種弾性塗料	△	単層弾性塗材には推奨しない。

施工認定店

2012024000

ISK 石原産業株式会社 無機化学営業本部 機能材料営業部

<http://cleannano.iskweb.co.jp>

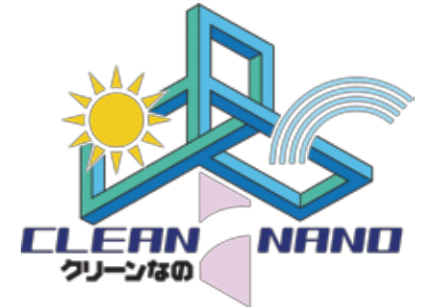
東京：〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル Tel.03-5844-6200 Fax. 03-3812-6539
 大阪：〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1丁目3番15号 Tel.06-6444-5816 Fax.06-6444-5817

【光触媒コーティングに関わる特許】

● 石原産業株式会社は、現場で施工する際の光触媒超親水性技術に関して、TOTO 株式会社のライセンスを受けています。
 本カタログの全部または一部を無断で転載、複製することを禁止します。

Wの機能で街の美観を維持。快適空間創造材料

光触媒2層コーティング



光触媒コーティング剤
ST-K261 / ST-K271



ISK 石原産業株式会社



自然のパワーを利用したテクノロジーで、街をいつもクリーンに。

用途と対象

街の美観を維持。様々な用途に利用できます。

建築物



- 一般建築物の外壁に。
- 資産価値の維持に最適。

工場



- 貯槽や倉庫外壁に。
- イメージアップの手段として。

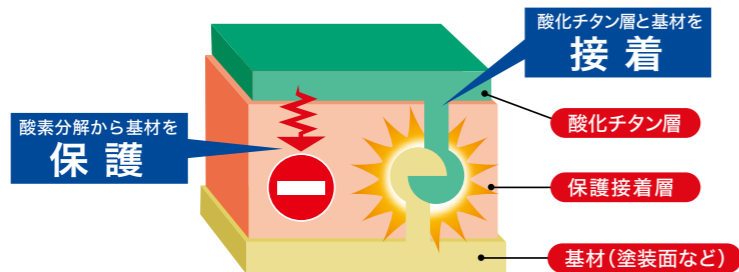
道路資材



- 防音壁やガードレールに。
- 美観維持と安全確保を両立。

“W”の膜のクリアコート

光触媒2層コーティングは2層のクリアコートで、幅広い基材と強固に密着します。保護接着層(アンダーコート)の効果により、基材の光触媒活性による分解の抑制、基材と光触媒層の接着、基材からの不純物拡散の阻止などの効果が期待でき、基材の風合いをそのままに優れた耐久性を実現いたします。



- 特長**
- 基材と強固に付着
 - 分解機能からの基材保護
 - さまざまな基材に塗装可能

【標準塗装仕様】

条件・工程		下塗り	上塗り
一般名		保護接着層形成剤	酸化チタン層形成剤
銘柄名		ST-K162	ST-K261 / ST-K271
塗装回数		1	1
塗装方法		刷毛、ローラー、スプレー (それぞれ推奨器具使用)	
標準塗布量 (g / m ² / 回)		20 ~ 50	20 ~ 50
標準塗装膜厚 (μm)		2.0	1.0
塗膜硬度		—	3H
塗装間隔 (20℃)	min	1 時間	—
	max	6 時間	—
希釈剤銘柄		ST-K862 / ST-K962	ST-K861 / ST-K961
希釈率		0 ~ 200%	0 ~ 300%

“W”の機能で汚れない

光触媒の2つの機能(有機物酸化分解、超親水性)で防汚・防滴効果を発揮いたします。

光のちからで汚れを分解

- 紫外線のちからを吸収、有機物を酸化分解します。
- 光触媒自身は消耗することはありません。

雨のちからで汚れを除去

- 雨が降ると水の膜を形成。汚れを浮かせて流し去ります。
- 水滴をつくりません。乾燥後に跡が残りにません。

(0) 商品名	光触媒コーティング剤 ST-K261、ST-K271		
(1) 光触媒等の種類	酸化チタン		
(2) 光触媒等の加工部位	外装材 (カタログに記載の基材)		
(3) 光触媒等の効果	1. 測定方法は JIS R1703-1、JIS R1703-2 に準拠しました。		
2. セルフクリーニング効果	限界接触角	ST-K261 : 5°以下 ^{*1} ST-K271 : 5°以下 ^{*1}	汚れを洗い流す性能の目安です
	分解活性指数	ST-K261 : 17.2 ^{*1} ST-K261 : 11.5 ^{*1}	汚れを分解する性能の目安です
(4) 使用できる場所	屋外		
(5) 安全性	急性経口毒性、皮膚一次刺激性、変異原性について、光触媒工業会の安全性基準を満足していることを確認しています。		
(6) 使用上の注意	表面に過度の汚れが付着していると、十分なセルフクリーニング効果が得られませんので、定期的な清掃をお勧めします。		
*1 : 光触媒工業会の認証基準は限界接触角が 30°以下であり、小さいほど性能が高い事を表します。分解活性指数の認証基準は 5 以上であり、大きいほど性能が高い事を表します。			

(上記記載は光触媒工業会の表示ガイドラインを遵守して表示しています。)

塗膜性能 (SWOM3000 時間後)

項目	条件	結果	試験方法
塗膜到達硬度	室温放置後、7日間、鉛筆引っかき試験	3H	JIS K5400 に準拠
塗膜付着性	基盤目テープ剥離	25 / 25	
色差の変化	色差計	ΔE 5 以下	白色アクリルウレタン塗装板に塗工 色差計による測定値
光沢度の変化	光沢度計	保持率 40% 以上	白色アクリルウレタン塗装板に塗工 光沢度計による測定値